

## 《一人ひとりの意思と努力によって、原発のない安全な社会を実現させよう！》

原発なしでも電気は足りている！  
なのに、なぜ大飯原発再稼働なのか？

5月5日に全国54基の原発が全て停止してから1カ月が経ちました。この間、国民の節電努力、再生可能エネルギーの研究開発と実用化への努力等が実って、停電や産業の停滞などの問題は何も起きていません。関係官庁の統計によれば、全国の発電設備は、水力・火力・自家発電（自然エネルギー等）・原子力発電を全て合わせて2億8172万キロワットあります。ここから原子力発電54基分（4896万キロワット）を差し引くと2億3276万キロワット残ります。2010年の電力10社の最大需要（真夏日の最高気温時）は1億7775万キロワットでした。よって、原発なしでも電気は十分に足りているのです。約5万キロワットも余力があるのです。今後、省エネ仕様のインフラ整備や新エネルギーへのシフトは加速するでしょう。人口は減少し、電気はますます余ります。なのに、なぜ政府は今、原発の再稼働に躍起なのでしょう。利権問題も言われますが、最奥にある理由は《原発稼働は国策であり、それによってプルトニウムの生産手段を保持する》ということです。プルトニウムの潜在力は何かを、私達日本人は知っています。「原発なしでも電気は困らないじゃないか？」という社会状況が長引くと、再稼働の口実は無くなってしまう。秋になれば「電力不足」はもう通用しません。だからこそ今、真夏の炎暑の前に何としてでも再稼働を果たしたいというのが政府の真意。長い間、安全神話の国策に従ってきた私達ですが、今こそ一人ひとりがよく考え、自分の意思を表すべき時です。福島原発事故は未だ収束していません。最近も1号機の水位が危険な状態になったとの報道がありました。地震がいつ起こるかも分からない日本の国土で、再び福島同様の事故が起きたら、私達はもう逃げ場がないでしょう。再稼働は国民不在の暴挙だと思います。

### 大飯原発 再稼働反対！

#### 福井・全国集会(福井市)へ行こう！

大飯原発再稼働までの基本行程のうち、「県議会の再稼働容認」は6月20日頃との予想です。原発反対福井県民会議とその他の市民団体の呼び掛けで、6月16日(土)または17日(日)に、福井市・現地大集會が開かれます。東京からは、バス5台をチャーターし225名の参加者を募集中です。より多くの若い方々に参加していただくために、参加費は3,000円(往復バス料金として)です。不足分はカンパで補填します。食費は各自でお願いします。現地へ参加できない方は、カンパによるご支援をお願い出来れば幸いです。詳細は、【経産省前テントひろば】(TEL:070-6473-1947)までお問い合わせください。

また、「大飯原発再稼働反対！首相官邸ウォーク」は6月9日(土) 17:30首相官邸前に集合、18:00～集會と抗議ウォークです。

【メモ】《原発再稼働までの基本行程》  
原発地元町長の再稼働容認表明↓県専門委員会の安全確認↓県議会の再稼働容認・了承↓県知事の再稼働容認・確認↓それを政府に伝達↓政府は「原発立地の同意が得られた」として、政府としての再稼働容認↓それを電力会社に伝達↓電力会社は再稼働機の具体的準備開始↓約10日後に原子炉の運転開始(再稼働)↓約3週間でフル出力に入る(大飯原発は2基を順次再稼働させるので約6週間かかる)

### 講演会

## 【企業からの脱原発】お金の流れを変えて社会を変える

講師：吉原 毅さん(城南信用金庫理事長)

6月28日(木) 18:15~21:00 (開場 17:30) / 会場：町田市民フォーラム・ホール (3階)

参加費：300円(先着順) / 主催：さようなら原発・町田の会(TEL:042-720-2626・Fax:042-723-8943)

吉原さんは3・11直後に、「福島原発の事故は我が国の未来に重大な影響を与えています」「原発に頼らない安心できる社会へ」「原発と地域金融は相容れない」と、脱原発を企業として宣言しました。日頃から、「人を大切にする経営」「思いやりを大切にする経営」が理念です。社内の消費電力を3割削減し、原発推進の東京電力とは契約を解除して、自然エネルギーや民間の余剰電力を利用する特定規模電気事業者(PPS)と契約、現在に至ります。静岡県浜岡原発の廃炉を求める訴訟の原告団にも加わっています。経済界からの勇気あるメッセージに、ご期待下さい。

【後記】私達は、放射能の心配がない安全安心な生活環境を取り戻したいと願う者のグループです。毎月1・11・21日にこのニュースをお届けします。Faxにて集會情報のご投稿をお願いします。